

支都やごり

Newsletter No.62

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会

中部支部

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目7番9号

(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310

道の駅 マチテラス日進



目 次

支部長 新年挨拶	1
幹事長 新年挨拶	1
中部地方整備局長 新年挨拶	2
第77回 日本道路建設業協会 中部支部 定時総会・役員・委員会紹介	3
中部地方整備局・県・政令市との意見交換会(本部)	4
中部地方整備局実務者との意見交換会(支部)	5
若葉だより	6
アスファルト舗装技術に関する講習会	8
舗装施工管理技術者講習会	8
コンプライアンス講習会(労働基準法に関する講習会)	8
道路建設技術講演会	9
建設技術フェア2025in中部(学生ひろば)	9
安全パトロール(安全委員会)	10
中部緊急防災隊式典	10
中部緊急防災隊 2025年度 通常総会・役員・地区事務局紹介	11
防災訓練	11
日本道路協会 道路功労者表彰伝達式	12
道建協の社会・環境貢献活動	12
会員だより・編集後記	13
道路開通	

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
県道 57号

マチテラス日進

路 線 名 県道57号

営 業 時 間 9:00～18:00

(飲食施設は～20:00※店舗により異なります)

駐 車 台 数 大型車6台、普通車55台

休 館 日 元旦、月1回のメンテナンス休業

駅長からのメッセージ

日進市を中心とした周辺地域の魅力あふれる果樹、野菜の他愛知県内から集まつたお土産は、海の幸あり、山の幸ありと品揃えも豊富です。フードコートでは人気ベーカリー、海鮮食堂、うどん専門店、スイーツショップがバラエティー豊かなメニューでお待ちしています。



ここがポイント!

名古屋市に隣接しジブリパークからも近い
都市型の道の駅。地域産品の販売施設、お子様連れにも
優しい小上がりのあるフードコートの他、
木育プレイルームなども整備されていますので、
ごゆっくりとお過ごしください。

新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様には幸多き新春を迎えてお喜びを申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、各地で局地的豪雨や線状降水帯が発生し土砂災害や路面損傷が相次いたことは記憶に新しく、また埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没事故はインフラの老朽化を一因とする過去最大級の事故として全国に衝撃を与えました。道路の強靭化と迅速な維持管理の重要性が改めて浮き彫りとなった一年でありました。

一方で、建設投資は一定の水準を維持しているものの、資材高騰や労務費上昇に伴う採算性の厳しさ・扱い手不足の深刻化・カーボンニュートラルへの取り組みを始めとした環境規制への対応急務など、道路業界が抱える課題は依然として多く残されています。とりわけ、技能労働者の高齢化と若年層の入職不足は、道路インフラの品質・安全性を確保するうえで大きな問題となっています。国の取り組みとして、週休二日制の推進や適正工期・適正価格の確保が進められていますが、現場レベルでは依然として調整課題が多く継続的な改革が求められています。

2026年はこれらの課題に向き合う為に業界全体として真剣に取り組んでいく必要があります。今後も予測不能な経済環境と人口減少が同時進行する中で、従来型の施工・維持管理体制だけでは今後の需要に応えることが困難です。

この問題に立ち向かう為に、多様な人材雇用の促進・労働環境改善・i-Construction2.0への取り組み・DX推進やAI活用による業務の効率化や生産性の向上・技術の伝承の確実な推進等を実現させ、引き続き品質と安全を最優先とすると共に人材不足・長時間労働といった諸問題も解決し、一層魅力ある働きやすい業界となるよう進んでいかねばなりません。



私たちが担う道路整備は、社会の経済活動・住民生活を支える「社会の血流」とも言える重要な使命です。災害に強く、誰もが安心して利用できる道路ネットワークを未来に引き継ぐため、会員一丸となって取り組んで参りましょう。

本年の干支である丙午は「勢いよく物事を切り拓く年」とされております。本年が道路インフラの未来を切り拓く大きな一歩となるよう一層の挑戦を重ねてまいる所存です。

最後になりましたが、会員各位ならびに関係者の皆様方にとりまして、2026年が素晴らしい年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

支部長 中川 雄一

(日本道路株式会社中部支店 執行役員支店長)

新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様には幸多き新春を迎えてお喜びを申し上げます。2026年の新春を迎えてお挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、トランプ関税により経済活動が不透明になった一方、大阪万博が大きな成功を収め、インバウンドなど大きな経済効果をもたらしました。これまでのデフレ経済が終焉し、物価高騰が大きな問題となった1年ともなりました。こうした中、26年続いた自公連立政権が終わり、あらたに自維連立政権と初の女性首相が誕生し、歴史的な1年となりました。

また、自然界では2月に大規模な山火事が発生し、9月に首都圏で豪雨災害が発生しました。夏以降はこれまで経験したことのない熊の被害が多く報告されております。

これによりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申しあげますとともに、被災者、被害者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

建設業においては、日本全体が労働力不足に直面する中、2019年から実施された「働き方改革関連法案」が建設業でも2024年に猶予期間が終了し、一昨年4月から適用となりました。会員各社におかれましてはDXの推進や業務の見直しにより生産性の向上を図るなど創意工夫を重ね、法改正に対応するとともに、明るい未来ある産業となることを目指し長時間労働の是正、ワークライフバランスの実現に向けて取り組んできました。

今後も、官民間問わず全ての発注者様の理解を得て、業界全体で取り組む必要があります。道建協としても働きかけを行って参りたいと考えております。

このような状況において、当協会が国内のインフラを守り、自然災害からの復旧・復興を迅速に行なうことは社会から与えられた使命であります。今年もこの社会から与えられた使命に対する責任を果たすべく、会員の皆様と一致団結し協会として取り組んでいく所存ですので皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、道路建設業界のさらなる発展と皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

幹事長 杉山 雅浩
(大林道路株式会社名古屋支店 常務執行役員支店長)





国土交通省
中部地方整備局長
森本 輝

新年
挨拶

明けましておめでとうございます。令和8年(2026年)の年初にあたりご挨拶申し上げます。

昨年、中部地方整備局管内では42.6kmの高規格道路・直轄国道が新たに開通し、過去10年間で最長の延長となりました。中には約半世紀を経て開通した道路もあり、長年にわたる関係者のご尽力に深く感謝申し上げます。日本道路建設業協会中部支部の皆様におかれては、これらの道路の整備についてご協力をいただきありがとうございます。

中部地方整備局では、地域経済を支える高規格道路の整備に加え、人口減少時代においても、地域と地域を繋ぐことで生活圏人口を維持しつつ、災害に対するレジリエンスを高めるエッセンシャルネットワークの整備を進めています。

本年3月までには、三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路の東栄IC～鳳来峡IC間(延長7.1km)が開通する予定です。また、令和8年度には、国道155号 豊田南バイパスの豊田市東新町～逢妻町間(延長3.7km)が開通する予定であり、これにより、豊田南バイパスは暫定2車線で全線開通となります。

本年の干支「午年」は、前向きに進む力や着実な歩みを象徴する年とされています。建設業の皆様は、普段は地域づくりの担い手として、災害時には地域の守り手として活躍いただく大事なパートナーであります。将来に向かって一歩一歩着実に進んでいく年となるよう、次世代へつながる持続可能な社会基盤づくりに取り組んでまいります。

皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



第77回 日本道路建設業協会 中部支部 定時総会

5月29日にメルパルク名古屋で第77回定時総会が開催されました。

令和6年度の事業報告と決算についての承認、令和7年度の事業計画と予算等を審議しました。3月10日の幹事会で新たに中川 支部長や杉山 幹事長などを選出したことと追認事項として承認しました。

中川 支部長は冒頭のあいさつで能登半島地震に触れて「道路が社会的役割を果たしていることを再認識した。われわれは生活に不可欠な道路整備、維持する重要な使命を担っている」と強調されました。

また、昨年4月より適用された時間外労働時間の罰則付き上限規制についても触れて「4週8休の定着など働き方改革に取り組んできたが、業界だけでは実現できない問題があることも事実。関係機関の理解、協力を得て働きやすい職場環境の実現に向けさらに取り組みを進めることができ、魅力ある職場づくりにつながる。それが担い手確保につながれば業界が発展し役割を果たすことができる」と述べられました。

続いて本部の西田義則 会長が「道建協は創立80周年を迎える。国民生活に欠かせないインフラである道路を通じ、協会の基本理念である道路整備の推進、道路建設技術の向上、道路建設業の健全な発展

を念頭に置き、本年度もさまざまな活動を進める」と述べ、積極的な公共投資に向けた対応や働き方改革、担い手確保、物価高騰などへの適切な対応を図っていくとしました。当日は、技能社員表彰も行われ、7人に表彰状と記念品が贈られました。



■支部役員

役員	氏名	会社名	役職
支部長	中川 雄一	日本道路(株) 中部支店	執行役員支店長
幹事長	杉山 雅浩	大林道路(株) 名古屋支店	常務執行役員支店長
幹事	井上一人	鹿島道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	大矢秀臣	岐建(株)	営業本部 営業第二部部長
〃	岡田啓源	前田道路(株) 中部支店	支店長
〃	國島太佳生	(株)市川工務店	常務取締役
〃	小林敏広	福田道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	権藤 豊彦	世紀東急工業(株) 名古屋支店	常務執行役員支店長
〃	清水 正文	(株)ガイアート 中部支店	参与支店長
〃	田光 剛	東亜道路工業(株) 中部支社	常務執行役員支社長
〃	中野谷眞己	大有建設(株)	取締役常務執行役員 建設事業本部長
〃	難波陽一	中部土木(株)	代表取締役社長
〃	秦 純二	朝日土木(株)	会長
〃	松浦 真人	中村建設(株)	常務取締役
〃	藤田将寛	(株)NIPPO 中部支店	執行役員支店長
〃	宮内友孝	(株)佐藤渡辺 中部支店	執行役員支店長
〃	若林和仁	大成ロテック(株) 中部支社	支社長
会計監事	阿部哲也	三井住建道路(株) 中部支店	支店長
〃	住友哲也	花菱建設(株)	代表取締役社長
顧問	尾出 清	(株)NIPPO 中部支店	参事

■委員会:委員長・副委員長

委員会名	委員長	副委員長
企画運営委員会	中川 雄一	杉山 雅浩
作業部会	尾出 清	間宮 敏博
働き方改革実行委員会	藤田将寛	宮内友孝
建設コスト委員会	杉山 雅浩	佐藤 渉
		藤田将寛
環境委員会	岡田啓源	小林敏広
技術委員会	田光 剛	井上一人
安全委員会	清水 正文	宮内友孝
広報委員会	若林和仁	権藤 豊彦
防災委員会	中川 雄一	杉山 雅浩





中部地方整備局・県・政令市との意見交換会(本部)

支部総会後、中部地方整備局、岐阜、静岡、愛知、三重の4県及び静岡市、浜松市、名古屋市の3政令市と日本道路建設業協会の意見交換会をメルパルク名古屋で開催しました。中部地方整備局からは佐藤局長を始め11名、4県・3政令市からは7名、道建協本部から西田会長を始め8名、中部支部から中川支部長を始め32名が出席しました。

冒頭の西田会長の挨拶では、6月に策定が見込まれる国土強靭化実施中期計画は、これまで以上の予算規模と事業量を確保していただき、2026年度以降も十分な予算措置をお願いしたいと要望しました。特に道路舗装についてはアスファルト合材出荷量がピーク時と比較し4割程度の水準にまで減少しているため、このままでは災害時の道路啓開など地域の守り手が減少していることを心配しているとしました。担い手確保では、13年連続で設計労務単価が引上げられていることに感謝の意を表し、協会としても適切な賃金水準を確保し、建設キャリアアップシステム(CCUS)も積極的に対応していきます、時間外労働時間の削減、週休2日制の実施に向け発注者と協力して取り組みますと強調しました。また、民間発注者に対しても適正価格での取引実現を目指すとしました。

続いて、佐藤中部地方整備局長は、ものづくりを中心とした経済活動は物流が命。それを支える道路の役割は大きい。東海環状自動車道などのプロジェクトが完成を迎えつつあるが、次の仕事を仕込む時期である。今後約100キロの高速道路を事業化す

る計画。次のインフラ整備の計画を仕込みながら地域の経済活動をしっかりと支えていくと話し、地域の期待が高い道路整備に対する協力を協会に求めました。アスファルト合材出荷量が減少していることにも触れ、地域のアスファルトプラントを心配する声は多い。働き方改革なども含め、どのように取り組んで行くか意見を聞いてやっていきたいと述べました。国土強靭化中期計画についても予算確保に向け取り組むとしました。道建協が取り組む社会貢献活動にも触れ、地域に愛され評価されることが重要だと話し、協会活動に敬意を表しました。

意見交換会では、公共工事予算の安定的・持続的な確保、道路舗装工事における労働環境の改善と担い手確保、道路舗装工事におけるi-Pavementと新技術開発の推進と普及、入札・契約制度の改善、舗装工事積算の改善、道路舗装のメンテナンスサイクルの確立、無電柱化の推進をテーマに進められました。道路舗装工事における労働環境の改善と担い手確保、入札・契約制度の改善については、4県と3政令市からも回答を頂きました。





中部地方整備局と日本道路建設業協会中部支部との意見交換会を11月27日にKKRホテル名古屋で開催しました。

中部地方整備局からは市川 技術開発調整官を始め11名、中部支部から中川 支部長を始め31名が出席し整備局の実務者と活発な意見交換を行いました。

意見交換会では、公共工事予算の安定的・持続的な確保、発注関係事務等の適切な実市(入札契約、積算、工事成績評定等に関する事項)、舗装工事における労働環境の改善、舗装修繕工事の積算について、無電柱化の推進及び新技術の活用等に要望を行いました。

中部地方整備局からは、令和3年3月に策定した中部ブロック版の「新広域道路交通計画」で高規格完成道路やこれを補完する広域的なネットワークを中心とした必要な路線の強化や絞り込みを行い平常時・災害時及び物流・人流の視点を踏まえた具体的なネットワーク計画を策定している、令和7年6月に「第1次国土強靱化実施中期計画」が閣議決定されたので令和8年度以降も必要な予算の確保に努める、詳細設計業務について業務発注担当課、受注者、コンサルの三者での「合同現地調査」の実施など設計成果の品

質向上に努めている、熱中症対策として令和7年度より「現場環境改善費」から避暑・避寒対策費を切り離し現場環境改善費の50%を上限に別途積み上げ設計変更できるようになった、緊急時以外は勤務時間外の依頼はしない、「間接工事費の実績変更方式」の採用にあたっては、これまでの不調・不落の状況や地域特性を踏まえ間接工事費の実績変更方式を適用する必要性について整理し採用している、電線共同溝工事については個々の現場条件、特性を考慮し「難工事」に該当するかを判断している、中温化アスファルトの舗装工事を令和6年度の補正予算から試行しており今後も実施していく等と回答がありました。



若葉だより

WAKABA DAYORI

取材班
メンバー
紹介

新 小笠原瑠伽
加藤 紗穂
末次 佳原
田 夕子
畔地 真美
新 土田翔太郎

大林道路株式会社 名古屋支店
株式会社ガイアート 中部支店
東亜道路工業株式会社 中部支社
株式会社NIPPO 中部支店
日本道路株式会社 中部支店
三井住建道路株式会社 中部支店

Interview
1

現場名… 中部土木(株) 令和6年度 155号豊田南BP本新地区道路建設工事



江崎 達裕 さん

入社5年目

仕事内容 土木現場監督



Q. 同じ業界で働く若手へメッセージ

現場を安全に効率よく工期内に終えることは簡単なようで大変です。しかし最後竣工した時の達成感はそれを上回ると思うので、最後まであきらめずに頑張ることがいい結果につながるはずです!



小川部長

みち若葉



さんへ メッセージを頂きました

現在、江崎さんは現場代理人として現場管理、測量業務、書類作成など経験を積みつつ日々業務をこなし現場に貢献をしてくれています。人手不足・労働時間の縮減等、建設現場の環境が大きく変化をしている中で、若手技術者の活躍は必要不可欠になっています。現場は施工が進むにつれて日々状況が変わっていきます。その場だけでなく次の行動も考えて現場進めていき、今後も業務に対する積極的な姿勢を忘れずいろいろなことをチャレンジして成長してほしいと思っています。

Q. 実際に働いてみて感じたギャップや大切にしていることはありますか?

良いギャップですが、土木業界の方は怖いイメージがあり、職人さんとのコミュニケーションをうまく取れるか不安でしたが、関わりやすい人たちで安心しました。また、現場の良い雰囲気を保つため、業者さんにお願いをするときには、相手の気持ちを考えて情報は早め早めに伝えることを心掛けています。

Q. 先輩・上司との関係で印象に残っているエピソード・やりがいは?

2年目に配置された現場で上司から広い駐車場の勾配計画を任せられ、無事に計画できました。工事竣工後に、完成したものをたくさんの方が利用しているところを見たときにやりがいを感じ、うれしくなります。



Q. これからの目標、挑戦したいことは?

1年目の現場で職員として表彰をもらいました。今後、現場代理人として発注者から表彰をもらうことです。

Q. 趣味・休日の過ごし方は?

アウトドアな趣味(どまつり「kagura」・ゴルフ・草野球)が多いです。今年参加した第27回日本ど真ん中祭りでは、どまつりの最高峰、どまつり大賞(内閣総理大臣賞)を受賞することができました。





現場名… 三井住建道路(株)

(仮称)錦三丁目25番街区計画のうちC通路 歩道整備



タカ ヤマ
高山 皇 さん

入社4年目

仕事内容 施工管理



一日のスケジュール

- 8時 朝礼
(作業内容・危険箇所の確認)
- 9時 作業現場巡回
- 昼 元請会社と打合せ
- 夕方 現場作業終了後、
事務所で社内打合せ・事務作業

Q. この仕事を選んだ理由は?

学生時代に建設現場を見かけて「自分もやってみたい」と思い、土木系の学科を選びました。

Q. 仕事のやりがいは?

高山さん: 高速道路などのインフラ整備を通じて社会に貢献し、その成果を目に見える形で実感できることにやりがいを感じます。

井上所長: 大変な現場を仲間と支え合いながら乗り越えることで生まれる絆も、この仕事の魅力の一つだと思います。



Q. 休日取得の工夫は?

高山さん: 隙間時間に事務作業を進めるなど、現場でできることは現場でやるようにしています。まだうまくできていない部分もありますが、工夫して取り組んでいます。

井上所長: 1人で担当する現場が多く、交代が難しいのが現状です。各自、創意工夫をもって取り組んでもらっています。



Q. 将来の目標は?

まずは2級土木施工管理技士を取得して、将来はなんでも教えられる優しい先輩になりたいです。

Q. オフ日の楽しみは?

ドライブが好きで、静岡や関東まで行くこともあります。車が好きで、今はシルバーのベンツに乗っています。次は違うベンツが欲しいですね。車高が低いセダンが特に好きです。理由はモテるから!(笑)

みち若葉 さんへ メッセージを頂きました



井上所長

現在建設業界全体で若手社員が少ないという課題はありますが、この状況を早期にキャリアアップできるチャンスと捉え、前向きに取り組んでほしいと考えています。建設業は経験工学なので、人が嫌がる仕事も含め積極的に色々な経験をして10年後の自分を想像して、日々取り組んでください。
(井上所長の若い頃の印象的な経験は?)

ある現場では5人で一軒家に住み、料理も自分たちで作りました。何を作ればよいか分からず、スーパーのレジの方に聞いたこともあります(笑)。仕事に直接関係ないようでも、すべてが経験になると思っています。どんなことにも興味を持ち、全力で取り組んでもほしいと思っています。

最後に… 今回の取材では、現場で働く皆さんとの声を通じて、日々の工夫や仕事への思い、そして業界の魅力を改めて感じることができました。こうしたリアルな声が、今後の業界の発展や若手同士の繋がりを生むきっかけになれば嬉しく思います。今回取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会・日本道路建設業協会中部支部

愛知県アスファルト合材協会と日本道路建設業協会中部支部は7月10日、名古屋市の名古屋ガーデンパレスで「2025年度アスファルト舗装技術に関する講習会」を開き、両会員企業より約150名が参加し最新の舗装技術などを学びました。

冒頭、愛知県アスファルト合材協会技術管理委員会の櫻井正典 担当理事が「担い手不足・働き方改革・CO₂削減といった課題に対する取り組みを確実に実行し、働きがいと魅力のある業界にしていきたい。業界の継続的成長の為にも講習会で学んだ技術や情報を共有して欲しい。」と挨拶されました。

講習会は、中部地方整備局の舟橋邦顕 道路管理課長から「道路をめぐる最近の取り組み」、愛知県上下水道課企画調査グループの橘田隆 課長補佐から「循環型社会を支える下水道について」、愛

知工業大学工学部社会基盤学科の宗本理 准教授から「既設コンクリート橋の現状と維持管理に向けた取り組み」、東邦ガスエナジーエンジニアリングの比嘉盛嗣 ビジネス開発部長から「カーボンニュートラルの潮流と製造現場としての向き合い方について」と題して行われました。



舗装施工管理技術者講習会

日本道路建設業協会は10月22日、名古屋国際センター別棟ホールで舗装施工管理技術者を対象とした技術講習会を開催し、中部支部会員企業から75名が参加しました。

冒頭、中部支部の中川雄一 支部長は「エネルギー資源の高騰や資材不足の懸念が企業活動や国民生活に影響を及ぼしている。一方で、建設産業では技能労働者の不足が課題であり、ICTの活用による生産性の向上や労働環境の改善による賃金の向上が求められている」と訴え、本講習会を「技術革新が舗装技術に対応するため、最新の知識を習得する機会

とし、現場に生かしてほしい」と呼び掛けました。

続いて、中部地方整備局道路部の長谷川裕修 道路情報管理官が「道路をめぐる最近の取り組み」をテーマに講義した他、日本道路建設業協会の守屋孝之氏が「舗装工事の安全対策」、井上英司氏が「建設副産物対策」、坂東芳博氏が「舗装技術について」をテーマに講習を行いました。



コンプライアンス講習会

日本道路建設業協会では、平成29年度からコンプライアンスに関する講習会として、独占禁止法、暴力団排除、労働基準法をテーマとした講習会を開催しています。

中部支部においては、10月24日に名古屋ガーデンパレスでコンプライアンスに関する講習会を開催しました。

冒頭、日本道路建設業協会中部支部の岡田啓源 環境委員長は、「法令に違反することはあってはなら

ない。普段の業務でどんなリスクがあるかを理解し、それぞれの会社で共有してほしい」と挨拶しました。

続いて、公正取引協会の島田成久 事務局長が「独占禁止法関係」、中部地方整備局の兼定弘明 適正業務管理官が「事業者の立場から見た公務員との接触ルール」をテーマに講習を行い、約60名が受講しました。



道路建設技術講演会

日本道路建設業協会中部支部は、11月14日「令和7年度道路建設技術講演会」を名古屋市の東文化小劇場で開催しました。会員企業などから約150名が受講し、建設材料や道路行政の動向を学びました。冒頭、杉山雅浩 幹事長はエネルギー資

源や建築資材の高騰に触れ、「講演会が技術力と生産性の向上につながると願っている」と挨拶しました。続いて、名古屋工業大学大学院工学研究科の前田健一 教授が「複雑化する地盤災害を理解し備える」、日本道路協会中部ブロックの森山誠二 参与が「これから名古屋市圏が目指すもの」、中部地方整備局の長谷川裕修 道路情報管理官が「道路行政の最近の話題」をテーマにそれぞれ講演していただきました。



前田 名古屋工業大学
教授



森山 日本道路協会
中部ブロック 参与



長谷川 中部地方整備局
道路情報管理官

建設技術フェア2025in中部 (学生交流ひろば)

建設関連の最新技術や取組みを紹介し、产学研官の交流を図る「建設技術フェア2025 in中部」が、12月4日・5日の2日間開催されました。昨年に引き続き、名古屋市港区のポートメッセなごや第3展示室を会場に、過去最多の427社・団体が596小間に出店し、施設内の出展ブースや屋外展示会場には、多くの学生・一般来場者や技術者が訪れ、最先端の建設技術や取組みに触れる貴重な機会となりました。今回のコンセプトは「まるっとけんせつ界隈 #まっとるでよ」。DX・i-Constructionや防災・安全安心、維持管理・予防保全、環境・リサイクル、設計・施工の5分野に様々な技術が展示されました。

当協会も「学生交流ひろば」を継続して運営。2日間で55名の学生に道路業界の仕事内容、最新技術や情報を、建設技術を学ぶ学生の方々に直接会って説明することで、建設の仕事や技術を理解してもらえたと思います。

2日間で23,523人の来場者を迎え、建設技術の新しい魅力と社会資本整備の必要性を紹介し、盛況のうちに終了しました。



学生交流ひろば(道建協ブース)

安全パトロール（安全委員会）

安全委員会では、国土交通省中部地方整備局及びNEXCO中日本発注工事の現場において安全点検を実施しています。安全パトロールでは、工事概要説明を受けてから安全点検を実施、最後に良好な事項と是正する事項について報告した後、全体の講評を行い安全対策の更なるレベルアップを図っています。

● 第1回
令和7年
4月15日(火)
(参加28名)

実施場所	NEXCO中日本名古屋支社	名二環・東名阪道集中工事
工事名等	名古屋管内舗装補修工事(2024年度)	名II環 (株)NIPPO
	名古屋管内維持修繕業務 東名高速	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
	桑名管内舗装補修工事(2024年度)	東名阪⑤ 前田道路(株)
参 加 者	名古屋支社 保全サービス事業部	4名
	名古屋支社 名古屋保全サービスセンター	6名
	名古屋支社 桑名保全サービスセンター	7名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	2名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 桑名事業所	2名
	日本道路建設業協会中部支部	7名



● 第2回
令和7年
5月14日(水)
(参加23名)

実施場所	NEXCO中日本名古屋支社	伊勢湾岸道・新名神集中工事
工事名等	亀山西JCT～甲賀土山IC間舗装補修工事(2024年度)	(株)ガイアート
	桑名管内維持修繕業務	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
参 加 者	名古屋支社 保全サービス事業部	6名
	名古屋支社 桑名保全サービスセンター	8名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	2名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 桑名事業所	2名
	日本道路建設業協会中部支部	5名



● 第3回
令和7年
11月12日(水)
(参加30名)

実施場所	NEXCO中日本名古屋支社	東名・名神集中工事
工事名等	名古屋管内維持修繕業務	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
	名古屋管内舗装補修工事(2024年度)	(株)NIPPO
	羽島管内舗装補修工事(2025年度)	日本道路(株)
参 加 者	名古屋支社	7名
	名古屋支社 名古屋保全サービスセンター	6名
	名古屋支社 羽島保全サービスセンター	2名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	2名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 名古屋事業所	2名
	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 羽島事業所	2名
	日本道路建設業協会中部支部	9名



● 第4回
令和7年
12月9日(火)
(参加11名)

実施場所	中部地方整備局	三遠道路新城東栄地区工事
工事名等	令和6年度 新城東栄地区舗装工事	岐建(株)
参 加 者	中部地方整備局	1名
	浜松河川国道事務所	2名
	日本道路建設業協会中部支部	8名

中部緊急防災隊式典

日本道路建設業協会中部支部の会員を中心に構成する中部緊急防災隊は7月23日に令和7年度防災隊式典を名古屋ガーデンパレスで開催しました。

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県より隊員ら約140名が集結し、中部地方整備局など災害協定機関に一致団結した行動を披露し、士気を高めました。

中川雄一 本部長は「いかなる災害に対しても、これまで培ってきた経験を生かして対応する。隊員には今まで以上に緊急連絡体制の強化や資機材の点検・確保を図るとともに、より迅速での確な行動をお願いする。」と訓示をしました。

続いて来賓である中部地方整備局の渡邊伸也 総

括防災官と日本道路建設業協会の手塚文明 環境・安全部会長の祝辞に続き、中野谷眞己 愛知隊長が綱領を朗読し、防災意識の高揚を図りました。

式典後、名古屋大学減災連携研究センターの富田孝史 教授に「津波と高潮」をテーマに講演して頂きました。



中部緊急防災隊 2025年度 通常総会

日本道路建設業協会中部支部の会員を中心に構成する中部緊急防災隊は、6月4日、名古屋市中区のホテル名古屋ガーデンパレスで2025年度通常総会を開催し、防災訓練や講演会の開催などを盛込んだ本年度の事業計画を決めました。また、役員の追認では、人事異動に伴い中川雄一氏(日本道路執行役員中部支店長)を本部長に選任することを報告しました。中川雄一 本部長は「建設業は地域の安全・安心を守ることが使命。中部緊急防災隊が中部地域全体の災害に対応できる体制を構築していることは大きい。道路管理者からも頼りにされる大きな存在となっている。今後もこの体制を維持し、地域の安全を支えることができるよう協力をお願いしたい」と挨拶しました。

■令和7年度 中部緊急防災隊〈役員〉

役 職	氏 名	会社名及役職
本 部 長	中 川 雄 一	日本道路(株) 中部支店 執行役員支店長
副 本 部 長	杉 山 雅 浩	大林道路(株) 名古屋支店 常務執行役員支店長
総 務 部 長	國 島 太 佳 生	(株)市川工務店 常務取締役
愛 知 隊 長	中 野 谷 真 己	大有建設(株) 取締役常務執行役員建設事業本部長
三 重 隊 長	濱 口 健	朝日土木(株) 専務取締役
静 岡 隊 長	松 浦 真 人	中村建設(株) 常務取締役
理 事	清 水 正 文	(株)ガイアート 中部支店 参与支店長
〃	大 矢 秀 臣	岐建(株) 営業本部 営業第二部部長
〃	神 野 晋 也	昭和土木(株) 代表取締役
〃	權 藤 豊 彦	世紀東急工業(株) 名古屋支店 常務執行役員支店長
〃	若 林 和 仁	大成口テック(株) 中部支社 支社長
〃	難 波 陽 一	中部土木(株) 代表取締役社長
〃	田 光 剛	東亜道路工業(株) 中部支社 常務執行役員支社長
〃	中 井 俊 彦	中井土木(株) 代表取締役社長
〃	藤 田 将 寛	(株)NIPPO 中部支店 執行役員支店長
〃	岡 田 啓 源	前田道路(株) 中部支店 支店長
監 査 理 事	井 上 一 人	鹿島道路(株) 中部支店 執行役員支店長
〃	宮 内 友 孝	(株)佐藤渡辺 中部支店 執行役員支店長
対 策 委 員 長	成 瀬 博 夫	地崎道路(株) 名古屋支店 支店長
参 与	間 宮 敏 博	世紀東急工業(株)名古屋支店 技術部長
〃	望 月 俊 明	中部土木(株) 常務執行役員

■中部緊急防災隊〈地区事務局〉

愛知地区	岡 村 勝 大 有 建 設 (株)
岐阜地区	上 田 幸 司 (株)市川工務店
三重地区	松岡慎一郎 朝 日 土 木 (株)
静岡地区	瀧 本 昌 司 中 村 建 設 (株)
長野地区	小 榛 成 之 吉 川 建 設 (株)



防災訓練

巨大地震を想定し防災訓練を実施

中部緊急防災隊(中川雄一 本部長)は9月1日に名古屋市の事務局内に災害対策本部を設置し、防災訓練を実施しました。本部から愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5地区の事務局、各地区事務局から16班への情報伝達などの訓練を行いました。

和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震発生を想定、午前9時に本部を立ち上げ、各班に給水タンクの架台組み立てや大型土のうの保

管状況、劣化の確認などを指示しました。同隊は、災害などの緊急時に道路管理者と協力して道路面の確保などの活動に当たります。



日本道路協会 道路功労者表彰伝達式

道路功労者表彰式は、過去に日本道路建設業協会から技能社員表彰を受賞された方の中から各支部が本部に推薦し、日本道路協会で決定された方への表彰で、毎年8月10日の「道の日」に合わせて表彰伝達式を実施しています。

【受賞者】

株式会社NIPPO	伊東 克章 様
大有建設株式会社	坂崎 清隆 様
株式会社ガイアート	平林 敬裕 様
大成ロテック株式会社	多田 勝俊 様
大成ロテック株式会社	中野 忠将 様

今年は中部支部から5名の方が受賞され、8月21日に伝達式を行いました。

受賞者の皆様、おめでとうございました。



道建協の社会・環境貢献活動

令和7年度 道の駅 授乳室・授乳チェアの贈呈

〈「子育て応援策」として 管内3の道の駅に 授乳室を寄贈〉

日本道路建設業協会は、一般社団法人全国道の駅連絡会と連携し、国土交通省が推進する道の駅「子育て応援」施設の整備支援として、今年度(第3期)、全国44の道の駅へ簡易設置型授乳室と授乳チェアのセットを寄贈しました。

中部支部では、9月から3カ所の道の駅に授乳室・授乳チェアを贈呈しました。

贈呈を受けた自治体代表者からは、授乳室などがあるベビーコーナーを設置することにより、子育て世代の皆様にも安心して道の駅に訪れていただけるようになる、災害時にも活用できるものをいただきありがとうございましたなどのご挨拶を頂きました。

【令和7年度 授乳室寄贈先】

- ① 場 所: 設楽町 つぐ高原グリーンパーク
贈呈式: 令和7年9月26日 13:30~
- ② 場 所: 南箕輪村 大芝高原
贈呈式: 令和7年10月8日 11:30~
- ③ 場 所: 松崎町 花の三聖苑伊豆松崎
贈呈式: 令和7年10月29日 14:00~



①



②



③

会員だより

香川県旅行記

大成ロテック(株)中部支社 尾張営業所 渡邊 大祐

先日、紅葉狩りをしたいと一念発起して、有名なスポットがある香川県の小豆島と周辺の島々を観光してきました。

初日に新岡山港からフェリーで小豆島に向かい、日本三大渓谷美の1つである「寒霞渓」を訪れました。

寒霞渓の一番の見どころは、ロープウェイから眺める景色ですが、時間の都合上、車で登りました。

この日は快晴で、澄んだ空、透明感のある海、美しい紅葉の3拍子が揃った、写真だけでは伝えきれない、とても美しい景色でした。ガイドさん曰く、数日前が一番色づいていたとのことで、次回は絶好のタイミングでロープウェイに乗る決意をしました。

小豆島を観光後、高松に向かいました。

高松には日本三大名園と同等ともいわれる「栗林公園」があり、期間限定のライトアップが行われていると聞き、向かいました。

栗林公園の道中は、ライトを和紙で包んだ優しい光で誘導され、スポットライトを浴びた紅葉は、水面に自身の影を映し、逆さ富士のような幻想的な景色が広がっており、神秘の一端に触れたような感動を覚えました。



2日目には芸術の島である直島に行きました。直島を含む周辺の島々では、3年に1度瀬戸内国際芸術祭を開催しており、春・夏・秋の会と約100日間で100万人以上が訪れる非常に大きなアートの祭典です。直島について草間彌生さんの「赤かぼちゃ」で存じている方も多いと思います。

砂浜では、海とヤシの木と紅葉を一度に満喫でき、夏と秋の調和を楽しみながら、静かな波の音で、時が止まったような心地よいひと時を過ごせました。



直島 山中より



直島 恵美須神社

最終日は男木島に行きました。ここは漁師の島であり、別名猫島とも言われています。

また、全国で数少ない外壁が無塗装の灯台があり、今後重要文化財に指定される見通しです。

漁師の島であるため、港付近では漁師飯を食べることができ、私はサザエ飯を頂いて今回の旅は終了しました。

今回、離島旅行の楽しさに目覚めたので、時間の都合上回り切れなかった男木島と雌雄の関係にある女木島(鬼ヶ島)や、他の島にも行き、仕事の活力にしたいと思います。



編集後記

昨年は、日本国際博覧会(大阪・関西万博)が開催され、世界中から多くの来客が訪れました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、持続可能な社会の実現に向けた新たな技術やアイデアが発表される場でもありました。公式キャラクターのミックミックは、発表当時は気持ち悪いと思った人も多いと思いますが、いつの間にかすごい人気ぶりでした。万博のシンボルとなった大屋根リングも最大の木造建築物としてギネス世界記録になりました。建設にあたっては、環境に配慮した素材の使用や最新の建設技術の導入もされました。AI技術やデジタルツールの導入により、設計から施工、さらにはメンテナンスに至るまでのプロセスが効率化され、プロジェクトのリスク管理やコスト削減が実現可能となりました。

また、女性初の内閣総理大臣が誕生した年でもありました。建設業界においても女性の活躍を後押ししてくれるのではないかと考えます。これまで男性中心の業界で

あった建設業において、徐々に女性従事者が増えてきてはいますが、さらなる女性の活躍は、業界の多様性を促進し、より柔軟で革新的なアプローチをしてくれると思います。特に、女性がリーダーシップを発揮することで、職場環境の改善やワークライフバランスの向上につながりひいては、雇用促進にもつながるのではないかと思います。

私たちは、これから時代に向けて、持続可能な社会を築いていくために、積極的に取り組んでいく必要があります。気候変動も含めた時代の変化を受け入れ、働きやすく住みやすい未来に向けた新たな一歩を踏み出しが求められています。みやくみやくと受け継がれていく時の中で、私たちの努力が実を結ぶことを願います。

最後になりますが、安全と安心を大切にし、幸多き一年となりますように。

広報委員 潑本

連絡先

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375

●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

道路開通

Road opening of traffic

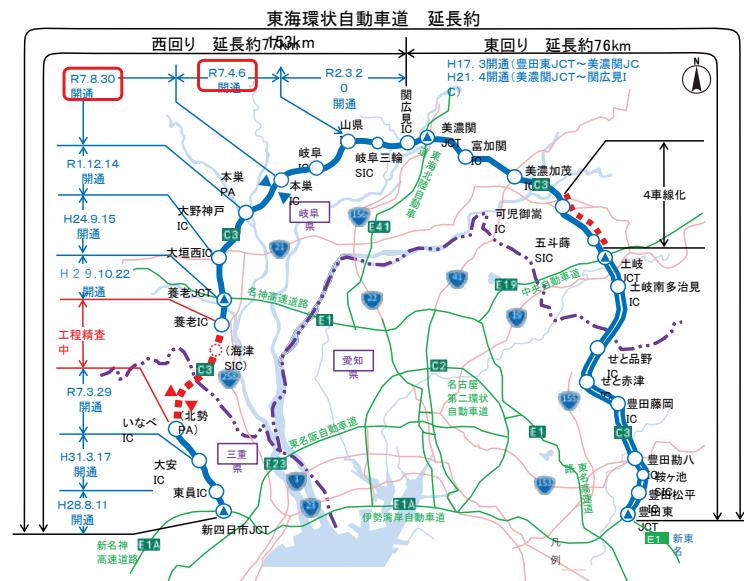
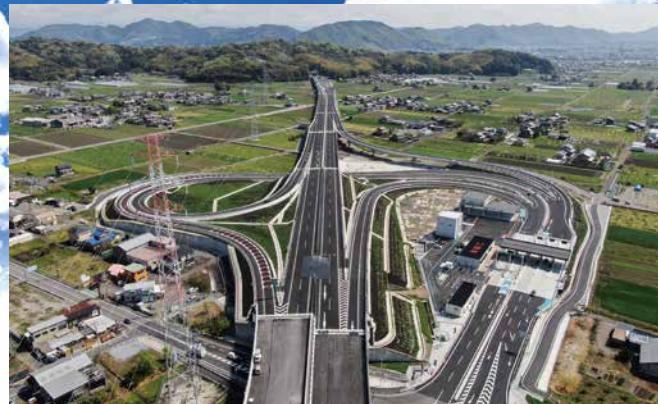
●令和7年4月6日(日)
一般国道475号 東海環状自動車道 (11.9km)

山県IC(岐阜県山県市西深瀬)

から **本巣IC(岐阜県本巣市上保)**



▲開通式



●令和7年8月30日(土)
一般国道475号 東海環状自動車道 (6.8km)

本巣IC(岐阜県本巣市上保) から 大野神戸IC(岐阜県揖斐郡大野町下磯)



▲開通式



一般社団法人
日本道路建設業協会中部支部